

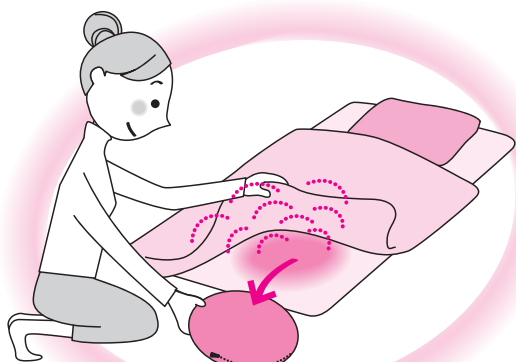
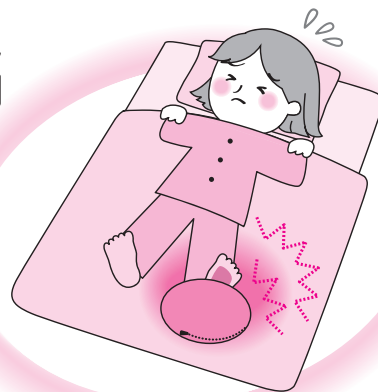
低温やけどに注意

低温やけどとは

低温やけどは、心地良く感じる程度(体温より少し暖かい温度)のものでも、皮膚の同じ部分が長い時間接触していると発生するやけどです。熱いものに接触している皮膚の温度とやけどになるまでの時間はおよそ次のとおりです。

44℃では3時間から4時間
46℃では30分から1時間
50℃では2分から3分

(出典:山田幸生、「製品と安全第72号」低温やけどについて、製品安全協会)



低温やけどを防ぐには

布団から出して使用する

布団が暖まったら、ゆたんぽを布団から取り出して就寝してください。

ゆたんぽの低温やけど対策用品を使う

低温やけど対策用品が市販されている場合には、それらを使うと**低温やけど**の防止には効果的です。

一定時間ごとにゆたんぽの位置を変える

保護者や介護者など周囲の方がいる場合は、身体の同じ部位に触れ続けないう、時々、ゆたんぽの位置を変えてあげてください。

厚手のタオルや布で包む

必ずしも**低温やけど**の防止には効果がありませんが、付属や市販しているゆたんぽカバーを使用し、その上から厚手のバスタオルや布で包むと、表面温度が下がるため、**低温やけど**を生じるまでの時間は長くなります。**低温やけど**は皮膚の深いところまで達することがあります。万が一、**低温やけど**(皮膚の変色や痛み)が起きたときには、すぐに専門医の診断を受けてください。

※SGマーク制度とは、製品安全協会が定めた認定基準に適合した製品にのみ表示され、その製品の欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度である。

SGマークシールに記載された期間年数は、補償に対する期間であり、製品の耐用年数を保証した期間ではありません。



SG工場等登録番号29-003

マルカ株式会社

〒661-0976 兵庫県尼崎市潮江5-7-10
TEL. (06) 6423-3971
<http://www.maruka-yutanpo.jp/>